

## 研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

クロミフェンクエン塩酸単独による低卵巣刺激法の有用性の検討
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2020年1月1日から2023年12月31日までに昭和大学病院の産婦人科にて不妊治療を受けた患者さん
<b>2. 研究目的・方法</b> 本研究では、高度生殖医療を受ける不妊治療患者さんに対して、クロミフェンクエン酸塩(CC)を用いた低卵巣刺激法の臨床成績を検討します。クロミフェンクエン塩酸(CC)のみを用いた低卵巣刺激は、患者さんへの負担が少ないものの、採卵日の調節性が難しいとされています。当院は土日の診療が行えませんが、開始日を調整し、CCによる排卵抑制作用を活用すれば、十分に採卵日の調節が可能と考えています。そこで、CCを用いた低卵巣刺激法と、従来の調節卵巣刺激法で行った治療に関する既存資料を収集することで診療実態を把握し、当院における基礎的なデータを確立したいと考えています。
<b>3. 研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 背景：年齢(生年月日)、身長、体重、肥満度、妊娠歴、不妊期間、合併症、既往歴 ART実施に関する情報：卵巣刺激開始日、排卵誘発剤名、誘発剤投与量、採卵数、授精胚数、凍結胚盤胞数、凍結胚盤胞Grade、移植周期数、診察を必要とした受診回数、臨床妊娠数、継続妊娠数) 臨床検査項目：血液検査、超音波所見
<b>5. 外部への試料・情報の提供</b> 該当いたしません。
<b>6. 研究組織</b> 研究責任者 研究機関名：昭和大学医学部産婦人科学講座 医師・助教：西井彰悟

分担研究者	研究機関名：昭和大学医学部産婦人科学講座	医師・主任教授：関沢明彦
	研究機関名：昭和大学医学部産婦人科学講座	医師・講師：坂本美和
	研究機関名：昭和大学医学部産婦人科学講座	医師・助教：中林裕貴

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学産婦人科学講座 氏名：西井彰悟

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8551